



## 水産情報速報版

H19. 7. 6 No1237  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行 = 指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. サクラエビ春漁終了 漁獲量は昨年をやや下回るものの、水揚げ金額は上回る

県水産技術研究所(大石恒治所長)では、このほど本年の桜えび春漁の漁獲状況等について、次のとおり発表しました。

それによると、本年の春漁は4月2日夜に始まり、6月5日夜で終漁し、この間の出漁日数は23日(昨年同期22日)、漁獲量は1,296トンと昨年(同1,337トン)をやや下回りました。

しかし、平均単価は2,828円/kgと昨年春漁(同2,417円/kg)より高値で推移したため、水揚げ金額は約36億7千万円と昨年(同約32億3千万円)を上回る結果となりました。

なお、6月下旬~10月下旬にかけて、県桜えび漁業組合による主産卵場調査(桜えび増殖対策事業)が実施される予定です。

### 2. 平成19年度天草共販第2回入札会開催される

本会では、6月19日賀茂出張所において天草共販の第2回入札会を開催しました。2回までの取扱累計は数量46,583kg、本数1,865本(前年比15,598kg、625本増)、取扱金額51,824千円(同2,198千円減) 平均単価11,125円(同6,310円減)となりました。

なお、今回の入札結果は次のとおりです。

入札数量:12,883kg(517本) 取扱金額:15,094千円 平均単価:11,716円(10kg当たり) 最高入札額:19,980円(10kg当たり) 生産地=北川・白田、銘柄=まくさ(粗)

### 3. 本会第58回通常総会を開催

本会では去る6月20日、県水産会館において第58回通常総会を開催しました。総会は西川会長の挨拶のあと、石川県知事、佐野県議会議長の来賓祝辞に続き、祝電披露が行われました。続いて、県漁連及び県信漁連の両連合会から、漁協系統における永年勤続者に対する感謝状が、4名の方々に贈呈されました。

次に増田御前崎漁協長が議長となり、平成18年度事業報告、19年度事業計画、定款の一部変更等が審議されいずれも原案どおり可決承認されました。

また、任期満了に伴う役員選挙を行い、理事10名、監事3名が無投票で決定し、引き続き開催された理事会、監事会において会長等の選任を行い、西川徳市会長(焼津漁協長)を再選、新副会長に橋ヶ谷善生氏(小川漁協長)を選任しました。

なお、新役員は次のとおりです。(敬称略:括弧内は所属漁協等)

代表理事会長 西川徳市(焼津:再) 代表理事副会長 橋ヶ谷善生(小川:新) 代表理事専務 大村久男(員外:再) 理事 宮城島昌典(清水:再) 理事 荒川邦夫(戸田:新) 理事 増田勇一(御前崎:新) 理事 内野 勇(遠州:新) 理事 藤井多喜男(下田:新) 理事 佐藤 亘(伊東:新) 代表監事 眞下五十吉(南伊豆:新) 監事 久米 勇(吉田:再) 監事 外山廣文(田子の浦:再) 常任理事 山下光夫

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

(員外:新)

漁協永年勤続職員表彰(敬称略・退職前所属漁協)

稲葉春實(伊東市) 佐藤富雄(戸田) 佐藤和彦(戸田) 平田美佐男(焼津)

### 4. 漁船海難遺児育英会へ寄付

- 用宗漁港まつり実行委員会 -

用宗漁港まつり実行委員会(斉藤政和静岡漁協長)では、去る5月13日「平成19年度用宗漁港まつり」を開催し、同委員会主催の体験乗船イベント会場において漁船海難遺児募金活動を行いました。そして、6月14日に斉藤実行委員長等が本会を訪れ、来場者からの募金や「NPO静岡葵調理福祉会」、「駿州丸子町人倶楽部」、「清翔会」からの売上金の一部が漁船海難遺児への育英資金にと寄付され、本会大村専務に寄託しました。

この浄財は、本会から漁船海難遺児育英会へ送金いたしました。本紙上をもって、改めてお礼申し上げます。

### 5. 県トラフグ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会を開催

本会では去る6月21日、県水産会館において県トラフグ資源管理型漁業実践推進漁業者協議会を県ふぐ漁組合連合会総会に合わせて開催しました。

漁業者協議会では、県水産技術研究所浜名湖分場の津久井分場長から「平成18年度のトラフグ漁の総括」と題し18年度漁期の延縄漁の結果、放流効果及び19年度の調査計画について情報提供がありました。続いて、県水産資源室青木主査から「19年度トラフグ資源回復計画について」、温水利用研究センター堀内所長から「19年度トラフグ種苗生産結果と経過」と題して情報提供がありました。

一方、県ふぐ漁連の19年度の主な事業計画では、豊かな海づくり協会の補助金を受けて、温水利用研究センター産種苗を7万尾(全数ヒレカット標識)を三重県有滝地先へ放流することや同センター産種苗3万尾を浜名湖内に直接放流することとしています。

なお、提案された水揚げ賦課金については、受益者負担という観点から組合員の理解を得て20年度から取り入れていく方向で決議されました。

また、理事退任に伴う補充選任では、岡部徳治氏(田子漁協長)が選任されました。

### 6. ふじのくにしずおかフードフェア開催日程決まる

ふじのくにしずおかフードフェア実行委員会(和田経済連経営管理委員会会長)では、6月28日第2回幹事会を、あざれあ(静岡市)において開催し、「ふじのくにしずおかフードフェア」の開催日程について決定しました。それによると、11月24日(土)に、一般消費者向けに、アキバスクエア(JR秋葉原駅徒歩2分)をイベント会場に「ふじのくにしずおかフードフェア」を開催し、本県産食材の展示や販売、著名シェフによるレシピ提案、トークショーなどを通じてPRする計画です。

また、平成20年2月20日(水)~22日(金)東京ビッグサイトで開催されるスーパーマーケットトレードショーに同実行委員会が出展企業を募って参加し、12月17日(月)には東京都太田市場で卸、仲卸業者を対象にトップセールスを行います。このほか、キミサワ自由が丘店に静岡産品を集めたコーナー設置、特設ブースでのPR及びテストマーケティング活動を周年実施する「しずおか夢逸品市場」を既に設置しています。

出展の詳細は、後日各漁協あてにご案内致します。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう